

定例公安委員会開催概要

1 開催日

令和4(2022)年10月26日

2 開催内容

次の議題について、警察本部から説明・報告がなされ、決裁等が行われた。

■全体会議

【警務部議題】

○ 第70回岩手県警察慰霊祭の執行について

警察本部から、「本年の岩手県警察慰霊祭は、11月2日(水)午前11時から、エスポワールいわて2階大ホールにおいて開催する。祭祀の対象は、殉職警察官54柱、警察官職務協力殉難者9柱であり、参列予定者は、殉職警察職員10柱の御遺族22名である。御来賓は8名であり、公安委員長にも参列をお願いする。参列する警察職員は、警察本部長、各部長、首席監察官、警察学校長、盛岡東警察署長である。式典終了後、希望する御遺族に彰功碑拝礼を御案内することとしている。」旨の報告があった。

【生活安全部議題】

○ 専決事務処理状況(令和4年7月～9月)について

警察本部から、「項目1の「風営適正化法関係」のうち、専決者を生活安全企画課長とする「営業の許可、遊技機の検定・認定等」の件数は478件で前年同期比64件減少、専決者を署長等とする「風俗営業の変更承認等」の件数は1,155件で前年同期比104件減少、「深夜酒類提供飲食店営業届出受理等」の件数は19件で前年同期比22件減少している。項目3の「警備業法関係」のうち、専決者を生活安全企画課長とする「資格者証、合格証明書の交付等」の件数は113件で前年同期比19件増加している。項目4の「質屋・古物営業法関係」のうち、専決者を署長等とする「古物営業の許可等」の件数は231件で前年同期比39件増加している。項目5の「銃刀法関係」のうち、専決者を生活安全部長とする「ライフル銃、初心者による散弾銃・空気銃所持許可等」の件数は26件で前年同期比11件減少、専決者を生活安全企画課長とする「現所持者による散弾銃・空気銃の所持許可等」の件数は33件で前年同期比23件減少、専決者を署長等とする「上記以外の銃砲所持許可の更新等」の件数が345件で前年同期比75件減少している。項目6の「火取法関係」のうち、専決者を署長等とする「運搬届、狩猟用火薬類の譲受・譲渡許可等」の件数は702件で前年同期比77件減少しており、申請件数は、第一四半期から減少傾向が継続している。」旨の報告があった。

【刑事部議題】

○ 刑法犯認知・検挙状況について（令和4年9月末暫定値）

警察本部から、「認知件数については、全国・管区内は増加、本県は減少しており、検挙件数・検挙率・検挙人員については、全国・管区内及び本県とも全て減少している。本県の1月から9月までの「重要犯罪」「重要窃盗犯」については、「重要犯罪」が認知件数44件で前年同期比5件増加、検挙件数34件で前年同期比1件増加、検挙率77.3%で前年同期比7.3ポイント減少、検挙人員27人で前年同期比2人減少、「重要窃盗犯」が認知件数218件で前年同期比9件増加、検挙件数139件で前年同期比14件減少、検挙率63.8%で前年同期比9.4ポイント減少、検挙人員35人で前年同期比10人減少している。本県の1月から9月までの「特殊詐欺」については、認知件数は増加、検挙件数及び検挙人員は減少しており、「住宅対象侵入窃盗」については、検挙率は増加、認知件数・検挙件数・検挙人員については減少している。未検挙事件について、鋭意、捜査を継続するとともに、事件発生時には、早期検挙に向けて迅速的確な初動捜査を実施していく。」旨の報告があった。

【交通部議題】

○ 専決事務処理状況（令和4年7月～9月）について

警察本部から、「交通企画課関係」のうち、「安全運転管理者等に関する届出受理」については、「新規」が200件で前年同期比135件増加している。内訳は7月が86件、8月が50件、9月が64件、率にして約207%増加しており、第1四半期の約304%増加、第2四半期の約1,062%増加と同様、増加が続いている。これは本年4月1日施行の改正道交法施行規則により、安全運転管理者によるアルコールチェックが義務化されたことと、本年10月1日施行の道交法一部改正により、安全運転管理者の選任義務違反等に対する罰則が引き上げられたことに伴い、安全運転管理者制度への社会的な注目が高まったことによるものである。また、県警察から県内のトラック協会、建設業協会及び自家用自動車協会へ安全運転管理者制度周知への協力依頼を行ったことが背景にあると考えられる。「解任」は176件と前年同期比118件増加しており、主な理由は、本来、安全運転管理者を選任する必要のなかった私有車を業務に使用している事業者が安全運転管理者を解任していることが挙げられる。「交通規制課関係」のうち、「駐車禁止除外標章の交付」については、「用務車の交付件数」が43件と前年同期比27件、率にして約168%増加している。これは、駐車禁止除外標章の有効期限3年を満了した公安維持車及び緊急往診車が集中したことによって、交付件数がそれぞれ13件増加したものである。」旨の報告があった。

【警備部議題】

○ 警衛警備特別派遣に係る警察職員の援助要求について

警察本部から、「天皇皇后両陛下兵庫県行幸啓に伴う警備諸対策に万全を期すため、兵庫県公安委員会から、警察職員の派遣に関する援助要求がなされたことから、当県警察職員を派遣することとしたい。」旨の説明があり、決裁した。

○ 専決事務処理状況（令和4年7月～9月）について

警察本部から、「集会の届出受理件数は14件であり、前年同期比で3件増加している。集団行進・集団示威運動の許可申請件数は25件であり、前年同期比で10件増加している。許可申請を受理し、不許可処分としたものや許可を取り消したものはない。集会の実施件数は12件であり、前年同期比で3件増加している。集団行進・集団示威運動の実施件数は21件であり、前年同期比で9件増加している。」旨の報告があった。

○ 令和4年度岩手県総合防災訓練への参加について

警察本部から、「本年度の岩手県総合防災訓練は、岩手県、大船渡市、陸前高田市、住田町、大船渡地区消防組合消防本部が主催し、10月29日(土)に開催される。訓練には、計97機関の県内災害関連機関と24の地元の自主防災組織が参加する。訓練については、地震、津波と大雨による浸水害・洪水害及び土砂災害が発生し、多数の死傷者が出たことによる人命救助、医療救護、住民避難等の応急対策の必要が生じたことを想定し、本訓練の大項目である「防災対策・避難等」、「避難所運営」、「防災意識の普及啓発・防災意識の高揚」、「関係機関の対処・連携強化」に基づき計72項目の訓練を実施する。警察では、地元の大船渡警察署及び本部関係所属の合計43名の職員を参加させることとしており、災害対処能力の向上、災害関連機関との連携の強化を図る。」旨の報告があった。

《 委員発言 》

「今回の訓練場所が来年の全国植樹祭に関わる場所なので、地形上の問題や交通上の問題等を事前把握するという意味でも大切だと思う。是非この機会を有効活用していただきたい。」

【その他】

警察本部から、交通死亡事故多発注意報の発令について報告があった。

■個別会議

○ 警務課

第70回岩手県警察慰霊祭における公安委員長の対応についての説明、決裁

○ 人身安全少年課

ストーカー行為等の規制等に関する法律に基づく禁止命令実施報告

○ 交通規制課

交通規制に係る住民協議の報告

○ 運転免許課

免許取消等処分関係に係る意見の聴取結果等の説明、決裁

○ 生活安全企画課

高齢者の特殊詐欺被害の分析結果報告

○ 監察課

第39回危険業務従事者叙勲勲章伝達式における公安委員長の対応についての説明、決裁